



投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所



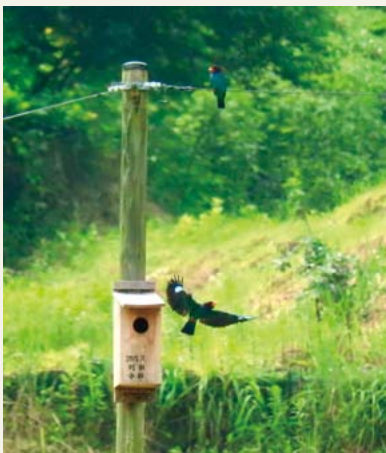
美しい女王滝を訪ねて
撮影者 優さん 撮影日 平成27年7月
撮影場所 本郷町上北方



梅雨明けの虹
撮影者 柴田道春さん 撮影日 平成27年7月
撮影場所 館町二丁目



茜雲
撮影者 西本貢さん 撮影日 平成27年6月
撮影場所 明神三丁目



八幡のブッポウソウ
撮影者 中野明さん 撮影日 平成27年6月
撮影場所 八幡町

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 10日(木)(必着)
応募資格 市内在住・在勤・在学の学生
募集枚数 1人1枚
選考 総務広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真(L判サイズ)か写真データと、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲先月、東京・霞ヶ関の国土交通省で表彰されました

港湾ビルの1階にぎやかな一角があります。みはらまちづくり兔つ兔。焼きたてパンや手作り作品を目当てに、船待ち客や周辺の住民が訪れます。中心市街地のにぎわいづくりのため、駅前で活動していた兔つ兔が元は食堂だったこの場所に移転して来たのは8年前。四国と航路が結ばれ、三原港が本州の玄関口だった時代、多くの人が食堂を利用しました。しかし、航路廃止で客足が減り、閉鎖。「ひと気がなく、さびしかった」。代表の小川和子

国のみなとまちづくりマイスターに認定

さんは振り返ります。移転を機に、港を拠点にしたまちづくりを開始。船を眺められるカフェ、島への観光客向けのレンタサイクル、港周辺の花壇整備、港や海に関連したイベントの開催など、市や観光協会と協力し、さまざまな取り組みを行ってきました。成果が認められ、平成21年には国の「みなとオアシス」に登録。先月には、小川さんが港の魅力を生かしたまちづくりの担い手として「みなとまちづくりマイスター」に認定されました。「兔のように市民の声に耳を傾け、できることをやってきた結果」と喜びます。今年で設立10年を迎える兔つ兔。「三原港は通学や通院、島巡りに使われる市民のための港。これからも身の丈に合った活動を続けたい」と、気持ちを新たにしています。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。



特定非営利活動法人とみはらまちづくり兔つ兔
代表 小川和子さん
おがわかしこ